



“矢中の杜” 2011

NPO 法人“矢中の杜”の守り人 2012 年度会報

活動報告



震災復興

2011年3月11日に発生した東日本大震災で邸宅も大きな被害を受け、本年度は被災した箇所の復旧が最優先課題となりました。NPOメンバーやつくば市臨時職員で協力し応急処置を進めたほか、専門業者に依頼し、本館の床下補強やジャッキアップ、瓦の修繕などの工事も行いました。震災以前の不同沈下と併せて修繕し、イベント時に多くの人数を収容できるよう対応しました。

邸宅整備

つくば市の臨時職員と協力して邸宅の整備を進めました。表門の装飾と郵便ポスト制作、庭の竹垣制作、雑草取り・植栽、衝立の脚の制作など、多岐にわたって整備を行いました。また、邸宅の遺留品の記録も行いました。

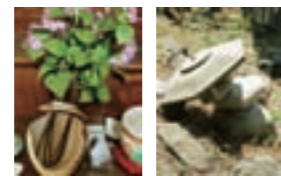
月例お掃除では前年度に引き続き、一般の方々も参加し、掃除を行いました。

邸宅公開

旧矢中邸の歴史的背景や建築的特徴、および文化的価値をより多くの人々に伝えるため、前年度に引き続きガイドツアー制による邸宅公開を行いました。東日本大震災の影響で4月より中止していましたが、安全を確認し、6月より再開しました。11月の北条小まつりでは児童向け特別公開を、また2月には留学生のインターンを受け入れ、プログラムとして英語版ガイドの作成と留学生を対象とした英語によるガイドを実施しました。

文化財登録

2011年7月25日付で、正式に国の登録有形文化財に登録されました。登録名称は旧矢中家住宅で、本館（登録名称は主屋）、別館（同離れ）、石蔵、石塀及び擁壁の4件の登録です。



灯籠は倒れ、家具は破損。屋根や壁の破損も多数発生しました。



2011年度は掃除のみならず、邸宅の整備も進めました。庭の植栽や竹垣の制作も実施。



本館玄関脇の大谷石の擁壁が崩落。崩落部分は竹垣を組んで、再生しました。



屋根瓦が一部剥落したため、修理工事までの間ビニールシートで応急措置。



ガイドによる邸宅公開は活動の基本のひとつ。今年も多くのお客様をご案内しました。



北条小まつりではグループごとに特別ガイド。子供たちの行列ができました。



震災の影響で少し遅れましたが、無事登録と相成りました。

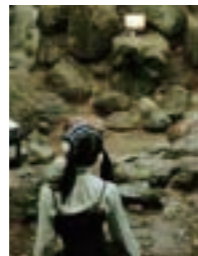
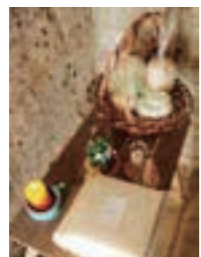
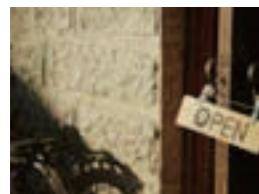




活用イベント

これまでの活動でつながった人や団体同士の交流を通じて新たな「縁」を生み出す、「矢中の杜“縁”（えにし）プロジェクト」をスタートさせました。

初年度は「文化遺産×演劇×ダンス」と題し、通常の劇場ではない場所での公演に積極的に取り組んでいる2つの舞台創作団体（劇団「百景社」、ダンスシアタープロジェクト「AAPA」）とコラボ。矢中の杜の庭園を舞台に、百景社は太宰治の代表作「斜陽」を、AAPAは「足跡」と題し、守り人たちの邸宅での日々が生み出す「足跡」をたどるパフォーマンスを行いました。NPOでは地下室を活用した「café縁の下」も運営しました。



庭は舞台に、地下室はカフェに。邸宅が新たな一面を見せました。

宿泊体験

筑波大学国際総合学類の授業科目「野外調査法」の一環として、筑波山麓地域を対象とした1泊2日のフィールドワーク調査の際、学生に矢中の杜で宿泊体験をしてもらいました。今後、邸宅で宿泊体験事業を展開する際の参考として、宿泊体験した学生には意見や改善点を聞きました。



初の宿泊体験を実施。邸宅に收藏されていた寝具を活用しました。準備では庭の築山が布団で彩られた場面も。



2011年度 活動記録

- 4月 東日本大震災による被災のため邸宅公開中止、復旧作業の実施
建物被災状況確認（20日）
- 6月 邸宅公開再開（4日）
- 7月 写真集「a-BUTTON」ロケ撮影（10日）
祇園祭特別公開（23～24日）
「旧矢中家住宅」として国登録有形文化財に登録（25日）
- 8月 茨城県「新しい公共支援事業」採択（12日）
- 9月 宮清大蔵ベルリンフィルコンサート協力事業（23日）
つくPa（クレオスクエア）参加（24日）
セミナー「コミュニティガーデンをつくろう」@カスミ本社にて活動発表（25日）
- 10月 つくPa（イーアスつくば）参加（2日）
沼尻さん（左官）による地盤工事（14日）
染谷工務店による本館修繕工事（18～19日）
筑波山麓秋祭りによる特別公開（22日～11月6日）
筑波大学野外調査法演習による活用・宿泊体験（22～23日）
- 11月 北条小祭り協力事業（5日）
「あしたのまち・くらしづくり活動賞」表彰式（振興奨励賞受賞）（16日）
「矢中の杜”ものがたり”」発行（19日）
“縁”プロジェクト2011「文化遺産×演劇×ダンス」実施（19～27日）
筑波公民館講座での事前講義（19日）・見学（23日）
里山建築研究所による邸宅の調査（28日～）
- 1月 茨城放送にて活動紹介（29日）
- 2月 月例お掃除特別企画「障子張り替え体験会」（11日）
- 3月 邸宅の修繕工事（28日まで）

メディア掲載

- 茨城新聞「旧矢中邸、国文化財に」（9月1日）
- 常陽新聞「旧矢中邸が登録文化財に」（9月2日）
- ezpress. 10月号「矢中の杜（旧矢中邸）」（10月1日）
- 筑波大学新聞「旧矢中邸が国の文化財に 本学生らが保存活用」（10月3日）
- ezpress. 11月号「矢中の杜“縁”プロジェクト2011「演劇×文化遺産×ダンス」」（11月1日）
- 茨城新聞「旧矢中邸で舞台上演」（11月19日）
- 茗溪「新春特集Ⅱ「ふるさと」は仰角30度に 筑波の街の地域づくり」（1月24日）
- 常陽新聞「筑波学院大学生からの発信 育て社会力！つくば市をキャンパスに“縁の下”の仲間たち」（2月16日）
- 季刊誌「まちむら」「地域の文化遺産「旧矢中邸」を舞台にした若者たちによる場づくり」（2月）

NPO 会員数（2012年3月末現在）

正会員	13名
友の会会員	6名
賛助会員	1名
ボランティア会員	14名